

2017年度 活動報告書



公益社団法人 日本医療社会福祉協会

目 次

2017 年度 各部・公益事業の主な活動報告

I. 公益目的事業 1	2
II. 公益目的事業 2	3
III. 公益目的事業 3	14
IV. 公益目的事業 4	15
V. 関連団体との連携＝法人事業	17
VI. 法人運営に関する事業の実施	18
2017 年度 渉外関係活動報告	20
2017 年度 研修プログラム	22

2017年度 公益事業の主な活動報告

I. 公益目的事業1 保健医療分野の福祉および社会福祉サービスに係る調査研究事業の実施

1. 医療ソーシャルワーカーの適正配置にかかわる調査研究事業の実施

1) 保健医療制度政策の研究、分析、検証等を継続した。

(1) ①「人生の最終段階における意思決定支援研修会」受講者への研修効果の調査を2会場（広島県、神奈川県）で実施した。

②2015年度「人生の最終段階における意思決定支援研修会」の研修効果の調査結果をまとめ札幌学会で発表した。

(2) 全国の地域包括ケア病棟・病床を対象に在宅復帰支援の現状把握と役割の明確化を目的として調査を実施し、結果について「医療と福祉」103号 Vol.51-No.2に掲載した。

(3) 全国の在宅療養支援診療所を対象に、医療ソーシャルワーカーの配置や退院前カンファレンスの参加状況等の調査を実施し、結果について「医療と福祉」103号 Vol.51-No.2に掲載した。

2) 平成28年度診療報酬改定について、会員等からの質問に対応した。

3) 平成30年度診療報酬改定について、厚生労働省に合計7点について要望書を提出し、ホームページに掲載した。また、外来診療での相談について追加で調査を行った。結果については厚生労働省中央社会保険医療協議会にも当協会の調査結果は資料として提出され、審議された。

4) 平成30年度診療報酬改定説明会を実施した（1回）。

期 日：2018年3月24日（土）

場 所：TOC有明（東京都江東区）

修了者：394名（会員：345名、非会員：49名）

5) チーム医療推進協議会に参加し、チーム医療に関する理解を深め、その意義について他団体と協力して国民に啓発するための活動を行った。また、各職種を紹介する「まんが」冊子の販売促進を行った。

2. 医療機関等に所属する会員データの収集・分析に関する調査研究事業の実施

会員情報の把握に関する調査を実施し、全国の医療機関で、保健医療分野の福祉サービスを提供している機関の情報収集およびホームページに会員マップを掲載した。

3. 医療ソーシャルワーカーの業務統計に関する調査研究の継続

保健医療分野におけるEBM（科学的根拠に基づく医療）の導入に対応し、ソーシャルワーカーの業務が客観的なデータに基づき評価されるよう情報収集を継続した。2017年度はソーシャルワークデータシステム「MANBO」の利用率を上げる方法を検討した。

4. ソーシャルワーク実践のための新グローバル定義の普及と倫理綱領見直しの準備

2014年7月に採択された新グローバル定義に基づいた「日本国展開」が2017年6月に確

定した。日本ソーシャルワーカー連盟で「倫理綱領改定準備委員会」を1回開催し次年度の「倫理改定委員会」設立の準備を行った。

5. 保健医療分野の制度に関する調査研究・情報収集の実施

「在宅医療」施策の課題や「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等について、政策の動向を把握し、関係機関に提言および国民の社会福祉の向上に資するよう情報発信を行った。

6. 国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）が主催する世界会議への参加およびアジア太平洋地域ソーシャルワーク会議への参加

- 1) 国際化時代に対応して諸外国のソーシャルワークおよび医療ソーシャルワーカーの現状と課題・今後のあり方等についての情報収集と調査研究（社会福祉士試験・振興センター助成事業）を行った。
- 2) 9/25～29 に中国・シンセンで開催された国際ソーシャルワーカー連盟アジア太平洋会議（IFSW-AP）へ日本ソーシャルワーカー連盟会長団体として参加し、わが国の最近の社会福祉の現状を発信した。得られた知見等協会ニュースやHPで紹介した。

7. 1. から6. までの事業について、個人情報保護や機密性に配慮しながら、調査結果や収集した成果を情報提供した。

- 1) 会誌「協会ニュース」を年間4回（4月、7月、10月、1月）発行した。
- 2) 機関誌「医療と福祉」を年間2回（8月、2月）発行した。
- 3) 保健医療分野の福祉サービスに係る普及啓発を目的として、当協会のホームページを運営管理し、以下の情報発信を行う。
 - (1) 当協会の行っている公益目的活動に関する情報
 - (2) 研修制度見直しに関する情報
 - (3) 研修会の開催、参加案内に関する情報
 - (4) 国民の利益の増進に役立つ情報
 - (5) その他、国民生活に関連する必要な情報

II. 公益目的事業2 保健医療分野の福祉サービスに携わる社会福祉士の専門知識および技術の習得および向上に資する研修事業の実施

1. 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰを実施した。

- 1) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ【東京会場】（第76回医療ソーシャルワーカー初任者講習会）
 - 期 日：2017年8月9日（水）～8月13日（日）
 - 場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）
 - 対 象：現に保健医療分野のソーシャルワーカーとして従事する者であって、受講する年度の3月末日現在において実務経験が3年未満の者。
 - 目 的：実務経験3年未満の医療ソーシャルワーカーに対し、医療ソーシャルワーカーとし

て必要な基礎的な知識・技術を習得してもらうことを目的とする。

内 容：別掲

修了者：114名

2) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ【兵庫会場】(第77回医療ソーシャルワーカー初任者講習会)

期 日：2017年11月22日(水)～26日(日)

場 所：富士ゼロックス総合教育研究所スペースアルファ三宮(兵庫県神戸市)

修了者：93名

2. 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱを実施した。

1) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ【宮城会場】

期 日：2017年7月15日(土)～17日(月)

場 所：TKP 仙台西ロビビジネスセンター(宮城県仙台市)

対 象：保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験3年以上の現任者。

目 的：実務経験3年を超えた保健医療分野のソーシャルワーカーが標準的に行うべき業務を遂行できるよう、必要な知識技術を身につけ実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

修了者：47名

2) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ【京都会場】

期 日：2018年2月10日(土)～12日(月)

場 所：京都リサーチパーク西地区(京都府京都市)

受講者：69名

3. 実習指導者養成認定研修を実施した。

1) 実習指導者養成認定研修【東京会場】

期 日：2017年9月16日(土)～18日(月)

場 所：KFC Hall 2nd(東京都墨田区)

対 象：実習指導に悩まれている方や今まで実習指導を行ったことのない保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験3年以上の現任者。

目 的：社会福祉専門職の養成教育において、重要課程である実習現場での実習時に、有効な指導ができるように、現場のソーシャルワーカーを現場のスーパーバイザーとして養成することを目的とする。

内 容：別掲

修了者：67名

2) 実習指導者養成認定研修【岡山会場】

期 日：2017年11月3日(金)～5日(日)

場 所：イベントホールみのるガーデン(岡山県岡山市)

修了者：44名

4. スーパーバイザー養成認定研修を実施した。

1) スーパーバイザー養成認定研修【東京会場】

期 日：2017年9月2日（土）～3日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：(1)～(4)のいずれか1つを満たしている者。

(1) 当協会のスーパーバイザー登録・紹介事業登録者。

（2003～2009年度実施事業）

(2) 当協会の研修①～②のいずれか1つを満たしている者。

①実習指導者養成認定研修修了者。

②ソーシャルワーク スキルアップ研修 スーパービジョン研修受講者。

（2010、2011、2014～2016年度）

(3) 当協会の認定医療社会福祉士登録者。

(4) 保健医療分野の現任者で組織の承諾が得られる者。

目 的：保健医療分野におけるソーシャルワークサービスの充実、および、質の向上を図るため、スーパーバイザーを養成することを目的とする。

内 容：別掲

修了者：40名

2) スーパーバイザー養成認定研修【岡山会場】

期 日：2017年11月25日（土）～26日（日）

場 所：イベントホールみのるガーデン（岡山県岡山市）

修了者：26名

5. 人材開発・養成講座を実施した。

期 日：2018年1月28日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：現任のソーシャルワーカー。

目 的：ソーシャルワークの専門性を踏まえた、人材育成・人材養成・人材開発の方法論を身に付けることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：49名

6. ソーシャルワーク スキルアップ研修を下記の内容で21回実施した。

1) アセスメント

期 日：2017年11月3日（金）

場 所：TKP ガーデンシティ宇都宮（栃木県宇都宮市）

対 象：保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験4年未満の現任の保健医療分野のソーシャルワーカー。

目 的：保健医療分野のソーシャルワークにおける一般的アセスメントについて医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰで習得した知識・技術を講義と演習を通してさらに深

め、アセスメントの実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：39名

2) インテグレイティブ・ショートターム・トリートメント（統合的短期型支援）

期 日：2017年12月2日（土）～12月3日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：実務経験3年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカー。

目 的：近年の社会福祉などを取り巻く状況の変化に予知、短期の支援が要請されているため、ソーシャルワーク諸理論の統合的活用により、より効果・効率的支援（総合的短期支援）の技法を学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：47名

3) 面接技術 ～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～

期 日：①2017年4月30日（日） ②5月28日（日） ③6月25日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：原則として実務経験3年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカー。

目 的：面接技術を向上させることにより、短時間に適切なアセスメントにつながる情報収集やクライアントとの関係性の構築を図ることを目標とし、そのために新しい手法の一つとしてソリューション・フォーカスト・アプローチの技術を学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：45名

4) 記録 ～プロセスからプロセス記録～

期 日：2018年1月13日（土）

場 所：ホテル熊本テルサ（熊本県熊本市）

対 象：記録について学びたい保健医療分野のソーシャルワーカー。

目 的：電子カルテにSWも記録を残すことが増えた昨今、プロセス記録とプロセス記録の違いを明確にし、記録の中でも電子カルテに多いSOAP記録を基本にしたプロセス記録のあり方などを講義とワークショップ形式で学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：35名

5) 記録 ～プロセスからプロセス記録～ アドバンス

期 日：2018年1月14日（日）

場 所：ホテル熊本テルサ（熊本県熊本市）

対 象：記録の研修としてさらに学びたい保健医療分野のソーシャルワーク実践者。

目 的：ワークショップを中心により根拠のある記録方法を学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：20名

6) スーパービジョン

期 日：2017年7月30日（日）

場 所：天使病院（北海道札幌市）

対 象：保健医療分野のソーシャルワーク実践者。

目 的：保健医療分野のソーシャルワーカーの実践力を向上させていくためには不可欠なスーパービジョンを講義と演習を通して学ぶ。

内 容：別掲

受講者：25名

7) 退院支援専門ソーシャルワーク研修【香川会場】

期 日：2017年6月17日（土）～18日（日）

場 所：高松センタービル（香川県高松市）

対 象：退院支援ソーシャルワーク実践者。

目 的：急性期病院をはじめ保健医療分野のソーシャルワーカーは退院支援に多くの時間を取られている現状にあると思われます。診療報酬の動きを踏まえ、われわれソーシャルワーカーも積極的にこの退院支援について考え学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

修了者：55名

8) 退院支援専門ソーシャルワーク研修【福島会場】

期 日：2017年9月30日（土）～10月1日（日）

場 所：郡山商工会議所（福島県郡山市）

修了者：65名

9) 周産期から始まるソーシャルワーク研修

期 日：2018年2月24日（土）～25日（日）

場 所：IMY ホール・会議室（愛知県名古屋市）

対 象：周産期・小児領域で実践中または今後関わる予定のあるソーシャルワーカー。

目 的：周産期およびそれに続く小児ソーシャルワークは、個人および家族にとってライフサイクル上の重要な時期の生活を支えることになり、生活者の生活課題を予測しストレスを支えるソーシャルワークの力を発揮することが求められる。急性期医療を要する時期における集中的な支援のみならず、成長発達する子どもを地域の諸機関と共にチームで支えていく視点も必要である。家族のはじまりの時期から関わり、その後も継続的に生活を支えていくソーシャルワークについて学び、実践力を養うことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：41名

10) ソーシャルワークにおける就労支援

期 日：2018年1月27日（土）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野における現任のソーシャルワーカー実践者。

目 的：がん対策基本法成立から10年を経過した2016年12月、事業主へ雇用継続へ

の配慮を求めることを明記した、改正がん対策基本法が成立した。また 2017 年 7 月を目途に、各都道府県に地域両立支援推進チーム（仮称）が立ち上げられるなど、現在、国策として、がんを含む私傷病を持つ従業員と治療の両立支援を推進する取り組みが推進されているところである。本研修は、がん患者の就労問題に関して、がん患者が直面する社会生活上の問題と、がん治療に伴う身体変化の特徴等に関する理解を深め、がん患者の職業生活と治療の両立支援に関する実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：34 名

11) 緩和ケアにおけるソーシャルワーク ～いのちに向き合う～

期 日：2017 年 12 月 17 日（日）

場 所：中野サンプラザ（東京都中野区）

対 象：緩和ケア領域で実践中、および関心をもつ現任のソーシャルワーカー。

目 的：緩和ケア対象の患者と家族へのソーシャルワークは、緩和ケア病棟に限らず、がん専門相談員としての実践や緩和ケアチームへの参入など、広く求められてきている。ソーシャルワーカーとしていかに向き合い支援していくか、緩和ケアにおけるソーシャルワークについて学びその実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：45 名

12) ソーシャルワークにおける臨床倫理

期 日：2017 年 7 月 29 日（土）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：保健医療分野のソーシャルワーカーにとって「クライアントの自己決定を支援する」ことの重要性は論を待たない。しかし選択の局面は、クライアント自身が意思表出困難な場合や、選択に制限が生じる状況、様々な要因の絡み合いなど「自己決定を支援する」ことが、容易ではないことは少なくない。そうした状況を臨床倫理的な視点で捉え、ソーシャルワーク実践における臨床倫理について考えることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：60 名

13) 認知症高齢者へのソーシャルワーク支援

期 日：2017 年 11 月 11 日（土）

場 所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：近年、もの忘れ外来や、認知症疾患医療センターなどが医療機関に設置され、保健医療分野のソーシャルワーカーが関わり、また、治療の継続や選択の局面、地域での生活支援など、専門診療科以外でも多くのソーシャルワーカーが関わっている。人権に基づく相談援助を行う専門職として、権利擁護や成年後見などの法的な枠組

みを含めたソーシャルワーク支援を学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：64名

14) 「家族療法」についてのワークショップ

期 日：2017年4月23日（日）

場 所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：日々の業務に密接に関わる当事者と家族に対する理解をより深め、臨床に生かすことを目的に、家族療法の理論と実際について学ぶ。特に、家族療法の視点をふまえたアプローチの実際、基本的な考え方の応用を目指すことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：47名

15) ソーシャルワーカーとコミュニティデザイン

期 日：2018年2月4日（日）

場 所：CIVI 研修センター新大阪東（大阪府大阪市）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：ソーシャルワーカーは地域で暮らす人々に寄り添い、療養中に生じる生活問題を共に考える役割として、取り組んできました。近年の医療機能の分化や地域包括ケアの推進において、ミクロレベルのソーシャルワークを根底に、メゾマクロのソーシャルワークの力を発揮するため、組織をアセスメントし、支援を組織化していく取り組みについて講義と演習を通して学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：22名

16) アディクションにおけるソーシャルワーク実践研修

期 日：2017年10月22日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：医療ソーシャルワーカーに必要なアディクションの知識を学び、依存症者の生きづらさへの理解を深めることで医療ソーシャルワーカーの果たすべき役割を理解すること、また演習を通じて、回復の動機づけを高める効果的なアプローチ方法や支援環境を理解し、ミクロからマクロまでを範疇とする適切なソーシャルワーク実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：41名

17) 交通事故被害者生活支援研修アドバンス研修【北海道会場】

期 日：2017年10月8日（日）

場 所：札幌国際ビル（北海道札幌市）

対 象：当協会の研修1）～2）のいずれか1つを満了している者。

1) 「eラーニングによる交通事故被害者生活支援教育」の受講修了者。

2) 2012～2016年度のソーシャルワーク スキルアップ研修 交通事故被害者生活支援研修の受講修了者。

目的：主に、交通事故被害者生活支援についての基礎研修に位置付けた「eラーニングによる交通事故被害者生活支援教育」の受講修了者を対象に、より高度な交通事故被害者支援に必要な知識や技術の習得を目的とする。また併せて、交通事故被害者支援の中核的人材の育成を図る。

なお、具体的な受講者に対する目標は以下の通り。

1) 交通事故被害者支援に必要な危機介入や被害者心理を理解した支援ができるようになる。

2) 交通事故被害者支援に必要な社会資源の知識をもって、より複雑なケースにも支援にあたることができるようになる。

3) 交通事故被害者支援に必要な、医学知識を身につける。

内容：別掲

受講者：13名

18) 交通事故被害者生活支援研修アドバンス研修【愛知会場】

期 日：2017年11月12日(日)

場 所：IMY ホール・会議室(愛知県名古屋市)

受講者：16名

19) 交通事故被害者生活支援研修アドバンス研修【熊本会場】

期 日：2017年12月10日(日)

場 所：TKP ガーデンシティ熊本(熊本県熊本市)

受講者：15名

20) 交通事故被害者生活支援研修アドバンス研修【東京会場】

期 日：2018年1月21日(日)

場 所：情報オアシス神田セミナーハウス北スペース(東京都千代田区)

受講者：39名

21) 交通事故被害者生活支援研修アドバンス研修【大阪会場】

期 日：2018年2月18日(日)

場 所：新大阪丸ビル別館(大阪府大阪市)

受講者：38名

7. ソーシャルワーク研究発表セミナーを実施した。

期 日：2016年10月28日(土)～29日(日)

場 所：KFC Rooms(東京都墨田区)

対 象：現任のソーシャルワーカー。

目的：現任のソーシャルワーカーにとって、専門性を高めるために研究は不可欠であり、研究は専門職である証である。研究に必要な知識や方法を学び、保健医療分野のソーシャルワーカーの研究発表を促進することを目的とする。

内容：別掲

修了者：19名

8. 社会福祉を学ぶ学生のための医療ソーシャルワーク学生講座を開催した。

期 日：2018年3月3日（土）～4日（日）

場 所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対 象：社会福祉を学ぶ大学2年生・3年生・4年生、社会福祉士養成校学生、大学院生。

目 的：社会福祉を学ぶ学生の「医療ソーシャルワーカーになりたい」「実際の仕事について知りたい」「病院の実習を受ける前に事前学習をしたい」といった要望に応え、正しい職業イメージを習得することを目的とする。

内 容：別掲

受講者：67名

9. フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会を実施した。

1) フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会【愛知会場】

期 日：2017年5月28日（日）

場 所：名古屋都市センター（愛知県名古屋市）

対 象：入職後2年未満の医療ソーシャルワーカー。

目 的：先輩や同期の仲間と交流を持ち、社会人の基礎や医療ソーシャルワーカーの心構えや知識、近隣の都道府県協会を知ることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：32名

2) フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会【大阪会場】

期 日：2017年6月25日（日）

場 所：大阪市社会福祉研修・情報センター（大阪府大阪市）

受講者：77名

3) フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会【東京会場】

期 日：2017年7月15日（土）

場 所：JCHO 東京新宿メディカルセンター（東京都新宿区）

受講者：89名

10. 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ・Ⅱ修了者、実習指導者養成認定研修修了認定者、スーパーバイザー養成認定研修修了者を集計したところ次のとおりであり、実習指導者の認定者については厚生労働省に届出等を行った。

2017年3月31日現在の修了者数の累計

医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ修了者：2,043名

医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ修了者：1,016名

実習指導者養成認定研修修了認定者：1,176名

スーパーバイザー養成認定研修修了者：369名

11. 研修部会内委員会

1) 実習指導者養成研修運営委員会

実習指導者養成認定研修を2回実施した。なお、実習指導者養成認定研修は、社会福祉士実習指導者講習会として厚生労働省より認められているので、前記 10. のとおり厚生労働省に届出等を行った。

2) 研修事業検討委員会

外部の有識者を交え1回開催し以下の検討を行った。

- ①基幹研修Ⅰの運営方法および研修内容についての検討。
- ②基幹研修Ⅱの運営方法および研修内容についての検討。

12. 第37回日本医療社会事業学会の開催

2017年6月2日(金)～4日(日)、札幌プリンスホテル 国際館パミール(北海道札幌市)にて第65回大会・第37回学会を実行委員会とともに開催した。

13. 第17回都道府県研修担当者会議の実施

第65回日本医療社会福祉協会全国大会に併せ実施した。

14. 講師紹介(派遣)事業については、7件紹介した。

15. 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修

当協会と(公社)日本社会福祉士会との共同事業である保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修を運営し、第13期のスクーリングを実施した。

<期日:2017年8月25日(金)～27日(日) 場所:新大阪丸ビル新館(大阪市東淀川区)>
参加者は、30名であった。

スクーリングの評価については、(公社)日本社会福祉士会と合同による評価委員会を行った。

16. 災害福祉支援活動基礎研修2017を実施した。

目的:全国で福祉職向けの災害福祉支援活動基礎研修を実施することで、災害支援に関心のある福祉職を掘り起こし、災害時の福祉支援に関する基礎知識を共有し習得すること。また、他の専門職の考え方や専門性を知るとともに、普段別の分野で働いている福祉職との協働の体験をすることにより、平時、災害時でのネットワークをつくること。さらに全国に災害福祉支援チーム人材がストックされていくことで、様々な災害において、即応かつ継続的に福祉支援を行うことができるようにすることを目的とする。

1) 災害福祉支援活動基礎研修2017【北海道会場】

期日:2017年9月30日(土)～10月1日(日)

場所:TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前(北海道札幌市)

対象:地域で活動する社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、相談支援専門員などの福祉・介護の専門職、社会福祉協議会、ボランティアコーディネー

ター、福祉系教員など災害時の福祉支援に関心のある福祉関係の方。

内 容：別掲

受講者：35名

2) 災害福祉支援活動基礎研修 2017【石川会場】

期 日：2017年11月3日（金）～4日（土）

場 所：金沢商工会議所会館（石川県金沢市）

受講者：52名

3) 災害福祉支援活動基礎研修 2017【静岡会場】

期 日：2017年12月16日（土）～17日（日）

場 所：アクトシティ浜松（静岡県浜松市）

受講者：53名

4) 災害福祉支援活動基礎研修 2017【東京会場】

期 日：2018年1月27日（土）～28日（日）

場 所：日本ソーシャルワーク教育学校連盟（東京都港区）

受講者：73名

17. 人生の最終段階における意思決定支援研修会を実施した。

目 的：人生の最終段階の意思決定の場面において、医学的適応だけではなく、その方が今後の人生をどのように生きたいか、どのように過ごしたいかの相談支援もふくまれる。合意形成に向けたチーム医療の実現とクライアントにどのように向き合い支援をするかを学び、実践力を高めることを目的とする。

1) 人生の最終段階における意思決定支援研修会【広島会場】

期 日：2017年9月30日（土）～10月1日（日）

場 所：ホテルチューリッヒ東方 2001（広島県広島市）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っている医療ソーシャルワーカー。

内 容：別掲

修了者：79名

2) 人生の最終段階における意思決定支援研修会【神奈川会場】

期 日：2018年3月3日（土）～4日（日）

場 所：公益財団法人神奈川産業振興センター（神奈川県横浜市）

修了者：94名

18. 在宅医療ソーシャルワーク研修会を実施した。

期 日：2017年7月29日（土）

場 所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対 象：在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅医療介護連携支援センターに勤務している（または予定の）ソーシャルワーカー。

目 的：近年、地域包括ケアシステムの推進と在宅医療の普及が求められる中で、在宅療養支援診療所などの在宅医療の現場で働くソーシャルワーカーに期待が寄せられて

いる。そこで、地域で暮らしている人びとの Well-being の増進と地域への貢献をめざし、①在宅医療ソーシャルワーカーによる支援の質の向上、②ネットワークづくりを目的とする。

内 容：別掲

受講者：51 名

19. 医療ソーシャルワーカーの地域活動セミナーを実施した。

期 日：2017年11月18日（土）

場 所：AP 浜松町（東京都港区）

対 象：保健医療分野および地域でソーシャルワーク実践を行っている医療ソーシャルワーカー、在宅医療介護連携推進事業に関わっている医療・介護従事者等。

目 的：各市町村で「在宅医療介護連携推進事業」が行われている。その中で、実際に市町村が設置した在宅医療介護連携センターに配置された医療ソーシャルワーカーや多職種研修会の企画立案・実施運営等に関わっている医療ソーシャルワーカーも多くなってきた。医療ソーシャルワーカーが行う効果的な地域活動について考える。

内 容：別掲

受講者：36 名

20. 老健ソーシャルワーク研修会を実施した。

期 日：2017年10月14日（土）

場 所：情報オアシス神田セミナーハウス北スペース（東京都千代田区）

対 象：老人保健施設の支援相談員（ソーシャルワーカー）。

目 的：老人保健施設は介護を必要とする高齢者の自立を支援し、住み慣れた家庭や地域への復帰を目指すための施設である。在宅ケア支援や近年は看取り介護への支援の役割も担っていることを考えると、地域包括ケアシステムの中心的施設であり、その中核を担う支援相談員（ソーシャルワーカー）の役割は重要である。本研修会は全国老人保健施設協会の協力を得て、支援相談員のソーシャルワーク機能の資質向上を目的とする。

内 容：別掲

受講者：78 名

21. 全日本病院協会と協力して「病院医療ソーシャルワーカー研修会」を実施した（2回）。

Ⅲ. 公益目的事業3 認定医療社会福祉士制度の整備並びに資格の付与に関する事業の実施

1. 第7回経過措置の認定審査

2017年5月7日に第7回経過措置の認定審査を行い、認定・資格付与を実施した。

第7期経過措置新規申請 合格者 223名

第7期経過措置更新申請 合格者 39名

2. 認定機構認定社会福祉士特別研修を実施した。

1) 2017年度 第1回認定社会福祉士特別研修

集合研修Ⅰ 2017年8月26日(土)～27日(日)

集合研修Ⅱ 2017年11月12日(日)

会 場 情報オアシス神田セミナーハウス北スペース(東京都千代田区)

受 講 者 46名

2) 2017年度 第2回認定社会福祉士特別研修

集合研修Ⅰ 2017年10月14日(土)～15日(日)

集合研修Ⅱ 2018年1月7日(日)

会 場 TKP 新橋汐留ビジネスセンター(東京都港区)

受 講 者 42名

3) 2017年度 第3回認定社会福祉士特別研修

集合研修Ⅰ 2017年11月25日(土)～26日(日)

集合研修Ⅱ 2018年2月11日(日)

会 場 情報オアシス神田セミナーハウス北スペース(東京都千代田区)

受 講 者 41名

3. 認定医療社会福祉士の普及促進活動

協会ニュースに、毎号、記事を掲載し、その他ホームページ、チラシ等で促進のための広報活動を行った。

4. 認定機構スーパービジョン説明会を実施した。

1) 平成29年度スーパービジョン説明会【東京会場】

期 日：2017年9月3日(日)

会 場：KFC Rooms(東京都墨田区)

修了者：27名

2) 平成29年度スーパービジョン説明会【岡山会場】

期 日：2017年9月3日(日)

会 場：イベントホールみのるガーデン(岡山県岡山市)

修了者：34名

IV. 公益目的事業4 社会貢献に関する事業の実施

1. 「患者・家族のための権利擁護活動」の実施

- 1) 「患者の権利法をつくる会」活動に参画し、患者の権利が適切に実現できる医療現場の基盤づくりを目指す中で、「福祉援助業務」の根付く土壌が明記された医療基本法の制定を求めている。WHO 憲章の定義に明記されているように、ソーシャルウエルビーイングの視点を含む「医

療」を目指そうとする医療基本法の制定に向けて、関係団体と協力し、議員、関係機関への働きかけ、会員、市民への啓発活動を行った。

- 2) 社会問題に関心を持ち、人権擁護、クライアントの不利益に関連する情報を収集し、会員に周知啓発し、必要があれば専門職の立場から発言する。2012年から「生活保護行政と医療ソーシャルワーク」シリーズとして研修会、市民向け公開講座を開催してきた。2016年度からはより幅広いテーマに取り組む方針とし「人権擁護と医療ソーシャルワーク」とした。2017年度は札幌大会で「身元保証人問題」についてシンポジウムを行った。

2. 「患者・元患者のための支援活動」の実施

ハンセン病回復者および家族等支援活動

ハンセン病回復者および家族の地域生活を支える活動（ハート相談センター）の運営に協力する。高齢化が進む回復者と家族の個別支援、相談支援を全国の担当者と連携して行った。

3. 「災害支援活動」の実施

- 1) 2011年から継続している宮城県石巻市の東日本大震災被災者支援を2017年度も継続する。被災から6年が経過し、石巻市は委託事業の集約を行わざるを得ず当協会への委託は「仮設住宅被災者生活自立支援事業」となる。仮設住宅から復興公営住宅への移行支援を今年度は4人体制で取り組んだ。

災害支援体制

	担当者氏名	役職	拠点住所
本部 事務所	笹岡 眞弓	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム統括責任者	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
	相原 和子	日本医療社会福祉協会 スーパーバイザー	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
	西田知佳子	日本医療社会福祉協会 スーパーバイザー	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
	金子小夜子	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム事務担当	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
石巻 事務所	福井 康江	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地責任者	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟
	金崎 慶大	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地担当	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟
	菊田 駿	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地担当	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟
	佐藤なおみ	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地担当	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟

- 2) 国内外の被災地において活動する、または活動した実績のある団体と連携し、災害が発生した場合に被災者に対して提供すべき福祉サービスの内容と提供するための方策について、情報

交換する活動を継続した。

4. 「国際的社会貢献活動」の実施

公益財団法人国際医療技術財団（JIMTEF）との連携により中進国・発展途上国のソーシャルワーカーの研修生受け入れについて国際情勢を考慮し検討した。

V. 関連団体との連携＝法人事業

1. 厚生労働省全国在宅医療会議

会議に参加した。

2. 日本ソーシャルワーカー連盟（元社専協）へ会長団体として参加した。

- 1) 代表者会議で専門職としての連携のあり方等について意見交換を行った。
- 2) ハンセン病回復者および家族への支援（ハート相談センター運営に参加）を行った。
- 3) 2017 Social Work Conference（中国大会）参加に向けての調整を行った。また IFSW—AP の役員選出国でもある関係から国際活動の拡充に努めた。
- 4) 声明等を発出した。

3. ソーシャルケアサービス従事者研究協議会（SCS）への参加

- 1) ソーシャルワーカーデー（2017年7月17日）および政策勉強会へ参加した。
- 2) 「ソーシャルケアの専門性」について、社会福祉振興・試験センターの助成を受け、研究を行った。

4. チーム医療推進協議会

「チーム医療」の発展のために本協議会の活動に参加した。

- 1) 理事会（年6回）
- 2) 総会（年2回）
- 3) チーム医療ガイドブック作成ワーキンググループ

5. 救急認定ソーシャルワーカー認定機構

委員を派遣した。

6. 日本在宅医学会と協力して「在宅医療コーディネーター養成講座」を実施した（2回）。

7. 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク活動

情報収集を行った。

8. 難病患者支援活動

JPA フォーラムに一般社団法人東京都医療社会事業協会と協力して活動支援、参加周知した。団体共催金を拠出した。

9. アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク（アル法ネット活動）

2013年12月に成立した「アルコール健康障害対策基本法」を推進することと、関連団体の連携を強化することを目的としたアル法ネットに18幹事団体の1つとして参加し、活動した。

10. 国民医療推進協議会

国民皆保険制度を守るためのアピール活動に協力した。

11. 公益社団法人全日本病院協会

加入病院における医療ソーシャルワークの質の向上のため、研修や調査およびその他企画に協力した。

VI. 法人運営に関する事業の実施

1. 会員情報の把握に関する調査等を実施し、入会促進に関する方策について検討した。

1) 会員名簿を管理した。

2) 入退会者を把握した。

正会員 入会 514名、退会 346名

賛助会員 入会 個人48名、団体6団体、退会 個人31名、団体3団体

3) 入会促進のために、新入会員から入会動機の調査を行った。

4) 全国医療ソーシャルワーカー協会会長の事務局を担当し2017年度内に6月3日（北海道）、10月14日（大阪府）において会長会を開催した。都道府県単位の医療ソーシャルワーカーの団体との連携を充実させた。

5) 永年会員表彰者の選定および表彰を実施した。

2. 理事会で承認を得た2018年度事業計画および予算を内閣府に提出した。

3. 当協会の法人としての運営に係る事業を実施した。

1) 定期社員総会を2017年6月2日北海道にて開催した。

2) 全国大会開催に関する業務を担当した。

(1) 2017年6月2日～6月4日北海道にて第65回大会を開催（一社北海道医療ソーシャルワーカー協会と共催）。

(2) 第66回大会・第67回大会の開催準備を進めた。

4. 会員の社会活動を支援するための社会活動補助事業を継続した。

5. 本会の財産管理および出納に関する業務を行った。

6. 「医療と福祉」発行関係

「医療と福祉」編集担当チームは、機関誌「医療と福祉」第102、103号を出版した。その他出版方法の見直しの検討を行った。

7. 「協会ニュース」発行関係

「協会ニュース」編集担当チームでは、会報「協会ニュース」を4回発行した。

8. 情報公開関係

9. ホームページ維持管理

ホームページ担当チームでは、ホームページ（協会本体・災害対策本部）の運営管理を行った。

- ・国民および会員に対しタイムリーな情報提供を行うため迅速な更新作業に努めた。
- ・協会本体・災害対策本部共に Facebook により協会の動きをリアルタイムに伝えられるよう更新作業を行った。

10. 調査研究に対する倫理審査担当会議について

年3回開催し、審査を行った。

11. その他、上記の業務以外代表理事から指示された特定の業務を行った。

2017年度 渉外関係活動報告

分類	主な活動内容
厚生労働省・その他行政機関関係	<p>厚生労働省 医政局地域医療計画課在宅医療推進室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/1 西出真悟氏が当協会から研修生として配属 ・11/8 「全国在宅医療会議」(早坂) <p>医政局「人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会」(早坂) 8/3、9/29(鈴木)、12/22、2/23、3/23</p> <p>保険局医療課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/30 平成30年診療報酬改定要望書を提出(早坂・山崎・佐藤) ・9/6 診療報酬改定要望 追加資料説明(早坂・佐藤) ・10/13 診療報酬改定要望 追加資料説明(早坂・佐藤) <p>健康局「がん診療連携拠点病院指定要件見直しWG」(早坂) 8/23、10/4、11/29、12/27、2/13、3/16</p> <p>労働基準局安全衛生部計画課企画係訪問(早坂・坂本) 2/23</p>
ワーカー連盟	<p>代表者会議：4/7、6/9、8/4、10/13、12/15、2/2</p> <p>IFSWAP 参加(中国 深せん)：9/25~9/29</p> <p>国際委員会：5/26、7/14、9/8、11/17、1/26、3/9</p> <p>ハンセン委員会：7/28、10/13、12/15、2/2</p> <p>事務局長会議：4/24、5/30、6/26、7/20、11/13、1/25、2/27</p>
SCS	<p>代表者会議：5/29、12/5</p> <p>研究事業会議：</p> <p>政策勉強会会議：</p> <p>事務局長会議：</p> <p>賀詞交歓会：1/24</p>
チーム医療推進協議会	<p>チーム医療推進協議会協議会総会：5/25、3/22</p> <p>チーム医療推進協議会理事会：4/24、7/10、9/4、11/6、1/9、3/5</p> <p>チーム医療推進協議会ガイドブック作成WG：5/10、7/3、10/16、11/27、2/5、3/14</p> <p>チーム医療推進協議会研修会：10/28、2/25</p>
認定社会福祉士	<p>認定社会福祉士認証・認定機構理事会：5/7、6/11、8/5、12/3、9/24(野口)、1/28、3/11</p> <p>認定社会福祉士認証・認定機構基本問題検討会議：</p>

認定機構	<p>(一社) 岡山県医療ソーシャルワーカー協会設立総会記念講演 (5/13)</p> <p>(一社) 東京都医療社会事業協会総会 (5/26)</p> <p>(公社) 埼玉県医療社会事業協会 H29 年度通常総会 (5/28)</p> <p>千葉県医療ソーシャルワーカー協会一般社団化記念式典 (早坂) 9/24</p> <p>青森県医療ソーシャルワーカー協会 50 周年記念式典 (早坂) 11/25</p> <p>全国医療ソーシャルワーカー協会会長会 8/20、10/14</p>
職能団体関連	<ul style="list-style-type: none"> • (公社) H29 年度日本看護協会通常総会 (6/7) 7/26 看護協会新会長就任パーティー出席 (早坂・鈴木) • 11/20 公益社団法人看護協会設立 70 周年記念式典及び祝賀会 (早坂、坪田) • 11/24 全日本病院協会 新役員懇談会 (早坂・染野) 1/12 四病協賀詞交歓会 (早坂・染野) • 第 13 回 国民医療推進協議会総会 (早坂) 10/3 • 11/22 国民医療推進協議会 「国民医療を守るための総決起大会」(中川、青山、増田、金子) • 全国老人保健施設狭隘全国大会 (坪田) 7/26
教育学校連盟 日本ソーシャルワーク	<ul style="list-style-type: none"> • 5/2 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 理事会 • 3/12 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 理事会
その他関係団体関連	<ul style="list-style-type: none"> • 4/26 『新世紀医療政策研修会』第 50 回例会 (早坂) • 5/8 新世紀医療政策研究会セミナー (山崎) • 10/28 第 3 回患者・家族メンタル支援学会学術総会 教育講演 「人生の最終段階における意思決定支援～医療ソーシャルワーカーの立場から～」(岡村) • 11/28 長野すけなり氏出版記念パーティー (早坂以下 32 名参加) • 3/1 柏市立柏病院院長への挨拶 (早坂・坪田)

2017年度 研修プログラム

2017年度医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰプログラム

【東京会場】(第76回医療ソーシャルワーカー初任者講習会)

日	時	講義名	講師
8/9 (水)	10:00~ 10:15	開講式・オリエンテーション	研修統括部
	10:15~ 11:15	Session 1 厚生労働行政の動向	国立保健医療科学院 上席主任研究官 玉置 洋
	11:30~ 12:30	Session 2 日本における医療ソーシャルワークの成立と課題	北里大学病院 早坂由美子
	13:30~ 15:00	Session 3-8 生活機能障害とソーシャルワーク	やわたメディカルセンター 林 真紀
	15:15~ 17:15	Session 10 支援方法論 アセスメントⅠ	神奈川県立がんセンター 福地 智巴
8/10 (木)	9:00~ 10:30	Session 3-4 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識④ 緩和ケア	筑波メディカルセンター病院 医師 志真 泰夫
	10:45~ 12:15	Session 5 社会保障制度とソーシャルワーク	国立がん研究センター東病院 坂本はと恵
	13:15~ 14:45	Session 3-7 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑦ 在宅療養	あおぞら診療所 医師 川越 正平
	15:00~ 16:30	Session 3-3 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識③ がん	国立がん研究センター中央病院 医師 堀之内秀仁
8/11 (金)	9:00~ 10:30	Session 3-6 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑥ 認知症	北里大学東病院 医師 新井 久稔
	10:45~ 12:15	Session 3-2 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識② 脳卒中と連携バス	JCHO 東京新宿メディカルセンター 医師 室生 祥
	13:15~ 14:45	Session 3-5 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑤ アルコール関連問題とアディクション	まこと心のクリニック 医師 山田 耕一
	15:00~ 16:30	Session 6 診療報酬とソーシャルワーク	JCHO 東京新宿メディカルセンター 山崎まどか
	16:45~ 18:55	Session 4 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅰ	国立病院機構北海道医療センター 保科 健
8/12 (土)	9:00~ 12:10	Session 8 医療における『家族』の理解	国立成育医療研究センター 佐藤 杏
	13:10~ 16:20	Session 9 支援方法論 ミクロ・メソ (自己理解・他者理解・コミュニケーションスキル・面接技術)	東京福祉大学 中里 哲也
	16:35~ 18:05	Session 3-1 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識① 糖尿病と合併症	医療法人社団松和会 医師 谷亀 光則
8/13 (日)	9:00~ 11:00	Session 7 支援方法論 チーム医療と地域連携	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史
	11:15~ 12:45	Session 11 医療ソーシャルワークと記録	国立病院機構神奈川病院 水野 茂樹
	13:45~ 15:45	Session 12 事例検討の方法と実践の検証	ときわ会常磐病院 鈴木 幸一
	15:45~ 16:00	閉講式	研修統括部
	16:00~ 16:20	アンケート等の記入	研修統括部

【兵庫会場】(第77回医療ソーシャルワーカー初任者講習会)

日	時	講義名	講師
11/22 (水)	10:00~ 10:15	開講式・オリエンテーション	研修統括部
	10:15~ 11:15	Session 1 厚生労働行政の動向	福知山公立大学 岡本 悦司
	11:30~ 12:30	Session 2 日本における医療ソーシャルワークの成立と課題	一般社団法人TMG本部 野口 百香
	13:30~ 15:30	Session10 支援方法論 アセスメント I	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	15:45~ 17:15	Session 3-8 生活機能障害とソーシャルワーク	やわたメディカルセンター 林 真紀
11/23 (木)	9:00~ 10:30	Session 3-1 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識① 糖尿病と合併症	神戸赤十字病院 医師 川島 邦博
	10:45~ 12:15	Session 5 社会保障制度とソーシャルワーク	太田総合病院附属太田熱海病院 亀谷恵理子
	13:15~ 14:45	Session 11 医療ソーシャルワークと記録	国立病院機構神奈川病院 水野 茂樹
	15:00~ 16:30	Session 3-5 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑤ アルコール関連問題とアディクション	ひがし布施クリニック 医師 辻本 士郎
	16:45~ 18:15	Session 3-7 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑦ 在宅療養	ふるかわ医院 医師 古河 聡
11/24 (金)	9:00~ 10:30	Session 3-2 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識② 脳卒中と連携パス	森之宮病院 医師 宮井 一郎
	10:45~ 12:15	Session 6 診療報酬とソーシャルワーク	JCHO 東京新宿メディカルセンター 山崎まどか
	13:15~ 14:45	Session 3-4 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識④ 緩和ケア	東神戸病院 医師 大西 和雄
	15:00~ 16:30	Session 3-6 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑥ 認知症	六甲アイランド甲南病院 医師 小倉 純
	16:45~ 18:15	Session 3-3 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識③ がん	神戸赤十字病院 医師 黒田 浩平
11/25 (土)	9:00~ 12:10	Session 9 支援方法論 ミクロ・メゾ (自己理解・他者理解・コミュニケーションスキル・面接技術)	東京福祉大学 中里 哲也
	13:10~ 15:10	Session 7 支援方法論 チーム医療と地域連携	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史
	15:25~ 17:40	Session 4 医療ソーシャルワークの価値と倫理 I	国立病院機構北海道医療センター 保科 健
11/26 (日)	9:00~ 12:10	Session 8 医療における『家族』の理解	国立成育医療研究センター 佐藤 杏
	13:10~ 15:10	Session 12 事例検討の方法と実践の検証	ときわ会常磐病院 鈴木 幸一
	15:10~ 15:25	閉講式	研修統括部
	15:25~ 15:45	アンケート等の記入	研修統括部

2017 年度医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱプログラム

【宮城会場】

日	時	講 義 名	講 師
7/15 (土)	10:00~ 10:10	開講式・オリエンテーション	研修統括部
	10:10~ 12:10	Session 1 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅱ	田園調布学園大学 松本 葉子
	13:10~ 15:50	Session3 支援方法論 地域連携とネットワーキング	千葉大学医学部附属病院 葛田 衣重
	16:05~ 18:25	Session6 ソーシャルワークリサーチ	東京福祉大学 中里 哲也
7/16 (日)	9:30~ 12:10	Session2 医療ソーシャルワーク業務改善・開発とマネジメント	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史
	13:10~ 15:10	Session4 医療ソーシャルワークのアドボカシー	国立病院機構大阪医療センター 岡本 学
	15:25~ 17:45	Session7 スーパービジョン	札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子
7/17 (月)	9:30~ 15:10	Session5 支援方法論 アセスメントⅡ	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	15:10~ 15:40	Session5 レポート課題作成	研修統括部
	15:40~ 15:55	閉講式	研修統括部

【京都会場】

日	時	講 義 名	講 師
2/10 (土)	10:00~ 10:10	開講式・オリエンテーション	研修統括部
	10:10~ 15:50	Session5 支援方法論 アセスメントⅡ	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	16:05~ 18:05	Session 1 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅱ	田園調布学園大学 松本 葉子
2/11 (日)	9:30~ 12:10	Session2 医療ソーシャルワーク業務改善・開発とマネジメント	岡山大学病院 石橋 京子
	13:10~ 15:50	Session 3 支援方法論 地域連携とネットワーキング	広島文化学園大学 大塚 文
	16:05~ 18:25	Session 7 スーパービジョン	金城学院大学 浅野 正嗣
2/12 (月)	9:30~ 11:30	Session 4 医療ソーシャルワークのアドボカシー	国立病院機構大阪医療センター 岡本 学
	11:30~ 12:00	Session 4 レポート課題作成	研修統括部
	13:00~ 15:20	Session 6 ソーシャルワークリサーチ	東京福祉大学 中里 哲也
	15:20~ 15:50	Session 6 レポート課題作成	研修統括部
	15:50~ 16:05	閉講式	研修統括部

2017 年度実習指導者養成認定研修プログラム

【東京会場】

日	時	内 容	講 師
9/16 (土)	13:00~13:30	オリエンテーション等	講師 日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 ファシリテーター 聖マリアンナ医科大学東横病院 佐藤 千秋 大阪府立急性期・総合医療センター 佐原 直幸 天理大学 鳥巢 佳子 札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子
	13:30~14:55	実習指導概論	
	15:05~16:35	実習マネジメント1	
	16:45~17:15	実習マネジメント2	
	17:15~18:50	実習プログラミング1	
	18:50~19:00	フィードバック	
9/17 (日)	9:30~10:25	実習プログラミング2	
	10:35~12:00	人の尊厳	
	13:30~15:35	実習スーパービジョン1	
	15:35~16:35	実習評価	
	16:45~17:30	フィードバック	
9/18 (月)	9:30~10:20	実習スーパービジョン2	
	10:20~12:30	実習スーパーバイザー会議1	
	13:30~14:00	実習スーパーバイザー会議2	
	14:00~14:30	フィードバック	
	14:30~14:45	チェックリスト	
	15:00~15:30	全体フィードバック	
	15:30~16:30	まとめ	

【岡山会場】

日	時	内 容	講 師
11/3 (金)	13:00~13:30	オリエンテーション等	講師 日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 ファシリテーター 大阪府立急性期・総合医療センター 佐原 直幸 天理大学 鳥巢 佳子 札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子
	13:30~14:55	実習指導概論	
	15:05~16:35	実習マネジメント1	
	16:45~17:15	実習マネジメント2	
	17:15~18:50	実習プログラミング1	
	18:50~19:00	フィードバック	
11/4 (土)	9:30~10:25	実習プログラミング2	
	10:35~12:00	人の尊厳	
	13:30~15:35	実習スーパービジョン1	
	15:35~16:35	実習評価	
	16:45~17:30	フィードバック	
11/5 (日)	9:30~10:20	実習スーパービジョン2	
	10:20~12:30	実習スーパーバイザー会議1	
	13:30~14:00	実習スーパーバイザー会議2	
	14:00~14:30	フィードバック	
	14:30~14:45	チェックリスト	
	15:00~15:30	全体フィードバック	
	15:30~16:30	まとめ	

2017年度スーパーバイザー養成認定研修プログラム

【東京会場】

日	時	講義内容	講師
9/2 (土)	9:30~ 10:00	オリエンテーション	ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 東海大学 堀越由紀子 日本社会事業大学 小原真知子
	10:00~ 10:10	評価尺度（事前）作成	
	10:10~ 13:00	Session 1 組織内外のスーパービジョン体制 原理・原則・倫理 Session 2 包括的スーパービジョン体制	
	14:00~ 16:50	Session 3 スーパービジョン体制のための理論 Session 4 スーパービジョン体制の様式・形態・課題	
	17:00~ 19:50	Session 5 組織におけるスーパービジョン体制の意義	
	19:50~ 20:00	アンケートの記入	
9/3 (日)	9:30~ 12:10	Session 6 スーパービジョン体制の計画作り	
	12:10~ 12:20	評価尺度（事後）作成	
	12:20~ 12:30	アンケートの記入	

【岡山会場】

日	時	講義内容	講師
11/25 (土)	9:30~ 9:45	オリエンテーション	ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 東海大学 堀越由紀子 日本社会事業大学 小原真知子
	9:45~ 9:55	評価尺度（事前）作成	
	9:55~ 13:00	Session 1 組織内外のスーパービジョン体制 Session 2 包括的スーパービジョン体制	
	14:00~ 16:50	Session 3 スーパービジョンのための理論 Session 4 スーパービジョン体制の様式・形態・課題	
	17:00~ 19:50	Session 5 組織におけるスーパービジョン体制の意義	
	19:50~ 20:00	アンケートの記入	
11/26 (日)	9:30~ 12:10	Session 6 スーパービジョン計画作り	
	12:10~ 12:20	評価尺度（事後）作成	
	12:20~ 12:30	アンケートの記入	

2017年度ソーシャルワーク スキルアップ研修プログラム

スーパービジョン

日 時	内 容	講 師	
7/30 (日)	10:00～ 10:10	開講挨拶 オリエンテーション	金城学院大学 浅野 正嗣
	10:10～ 12:10	講義 スーパービジョンの理論	
	13:10～ 14:45	講義・演習 支持的スーパービジョン	
	15:00～ 15:55	演習 グループスーパービジョンの倫理と課題	
	15:55～ 16:10	まとめ	
	16:10～ 16:25	閉講挨拶	

アセスメント

日 時	内 容	講 師	
11/3 (金)	10:00～ 10:10	挨拶 オリエンテーション：研修の意図	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	10:10～ 11:10	ミニレクチャー1 「ソーシャルワークにおけるアセスメントとは」	
	11:10～ 11:20	アイスブレイキング	
	11:20～ 12:00	ワーク① グループワーク 事例の共有・可視化	
	13:00～ 13:40	ミニレクチャー2 「アセスメントを導く面接」	
	13:40～ 14:00	ワーク② グループワーク アセスメントを導く面接への作戦会議	
	14:10～ 14:20	ウォーミングアップ	
	14:20～ 15:00	ワーク③ ロールプレイ アセスメントを導く面接の実際	
	15:00～ 15:15	全体共有	
	15:15～ 15:25	ミニレクチャー3 「アセスメントの記述」	
	15:35～ 16:30	ワーク④ アセスメントの記述と発表	
	16:30～ 17:00	まとめ	

インテグレイティブ・ショートターム・トリートメント（統合的短期型支援）

日 時		内 容		講 師
12/2 (土)	10:00~ 10:05	挨拶		講師 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 日本社会事業大学 小原真知子
	10:05~ 10:25	Session 1	グループ・自己紹介	
	10:25~ 11:30		ソーシャルワーク理論と統合的短期型支援（ISTT）	
	11:30~ 12:30	Session 2	時代背景とソーシャルワーク理論を考える	
	13:30~ 13:45	午前のまとめ		
	13:45~ 14:45	Session 3	ISTT の展開過程の概要	
	15:00~ 17:30	Session 4	ソーシャルワーク援助の対象者と介入を理解する	
12/3 (日)	9:30~ 9:50	前日の振り返り		
	9:50~ 11:00	Session 5	ソーシャルワーク援助と ISTT の主要な特徴を理解する	
	11:10~ 12:30	Session 6	理論的根拠に基づいた援助計画	
	13:30~ 16:00	Session 7	事例から考える ISTT	

面接技術 ～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～

日 時	内 容	講 師	
4/30 (日)	10:30～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・援助のプロセスと援助技法 ・エンゲージメントの段階で用いるスキル <ul style="list-style-type: none"> ・Anticipatory empathy ・ミラーリング ・イエスセット ・援助の合意を得る一言 	東京福祉大学 中里 哲也 城山病院 山口 広作 横浜市南福祉保健センター 篠原 直樹 北海道循環器病院 笠間 沙織
	13:00～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集段階で用いるスキル <ul style="list-style-type: none"> ・SFAの質問の型 ・GPの実践例 	
5/28 (日)	10:30～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ Good Practiceから学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ SFAを使って違ってきたこと、グッド・プラクティスを共有 ・ SFA Q&A ・ 例外を聞くことの意味 ・ 理解的な聞き方 <ul style="list-style-type: none"> ・ AI (Appreciative Inquiry): EARS <ul style="list-style-type: none"> ・ Elicit ・ Amplify ・ Reflect ・ Start Over 	
	13:00～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉の理論の枠組みに沿った情報収集をSFAの質問の型を援用する 	
6/25 (日)	10:30～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ Good Practiceから学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ SFAを使って違ってきたこと、グッド・プラクティスを共有 ・ SFA Q&A 	
	13:00～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメントの段階の技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ アセスメントの枠組みに沿った聞き方 <ul style="list-style-type: none"> ・ ライフ・モデル ・ システム ・ ソーシャルワーカーが理解したことを言語化する ・ アセスメントと整合性のあるプランを立て、クライアントの合意を得る ・ 解決志向と問題解決 	

記録 ～プロセスからプロセス記録～

日 時	内 容	講 師
1/13 (土)	10:00～ 12:00	アアライ株式会社 八木亜紀子
	13:00～ 16:00	

記録 ～プロセスからプロセス記録～ アドバンス

日 時	内 容	講 師
1/14 (日)	10:00～ 12:00	アアライ株式会社 八木亜紀子
	13:00～ 16:00	

退院支援ソーシャルワーク専門研修【香川会場】

日 時	内 容	講 師	
6/17 (土)	13:00～ 13:15	オリエンテーション	研修統括部
	13:15～ 14:15	講演 医療ソーシャルワーカーに望む退院支援	綾川町国民健康保険陶病院 病院長 大原 昌樹
	14:15～ 15:15	講義 MSW と NS の協働による退院支援	三豊市立西香川病院 地域連携室 室長 篠原 正代
	15:25～ 15:55	アイスブレイキングによるグループ分け 係決め（発表者・書記）	
	15:55～ 17:10	話し合い KJ 法作業による「退院支援に関する困難」の構造、関連図作成	
	17:10～ 17:50	発表	
	17:50～ 18:20	退院支援課題に対する介入方法の検討・作業	
	18:20～ 18:40	まとめ 投票	WITH 医療福祉実践研究所 佐原まち子
6/18 (日)	9:00～ 10:20	講義 退院支援業務の概観 ～その支援の焦点と課題～	日本福祉大学 田中千枝子
	10:30～ 12:15	SWOT 方式における 組織・地域アセスメント作業 グループ内フィードバックを入れながら、業務改善計画策定	
	13:15～ 14:15	講義 退院支援における SW アセスメントの重要性 ～アセスメントツールとしてのエコマップの活用～	佐原まち子
	14:15～ 14:50	事例①を読み込み、エコマップの作成、発表	
	15:00～ 15:25	事例②を読み込み、エコマップ作成、アセスメントを書く	
	15:25～ 16:00	エコマップとアセスメント発表とコメント	
	16:00～ 16:30	エコマップ質疑・全体フィードバック 講師コメント	佐原まち子 田中千枝子

退院支援ソーシャルワーク専門研修【福島会場】

日 時	内 容	講 師	
9/30 (土)	13:00～ 13:15	オリエンテーション	研修統括部
	13:15～ 14:15	講演 医療ソーシャルワーカーに望む退院支援	モミの木クリニック 院長 福井 謙
	14:15～ 15:35	講義 退院支援業務の概観 ～その支援の焦点と課題～	日本福祉大学 田中千枝子
	15:45～ 16:15	アイスプレイングによるグループ分け 係決め（発表者・書記）	
	16:15～ 17:30	話し合い KJ法作業による「退院支援に関する困難」の構造、関連図作成	
	17:30～ 18:10	発表	
	18:10～ 18:40	退院支援課題に対する介入方法の検討・作業	
	18:40～ 19:00	まとめ 投票	田中千枝子
10/1 (日)	9:00～ 9:15	講義 地域に展開するソーシャルワーク メソを基盤としたマクロへの展開	田中千枝子
	9:15～ 11:00	SWOT方式における 組織・地域アセスメント作業 グループ内フィードバックを入れながら、業務改善計画策定	
	11:10～ 12:10	講義 MSWとNSの協働による退院支援	太田総合病院附属太田熱海病院 看護師 穴戸 孝子
	13:10～ 14:10	講義 退院支援におけるSWアセスメントの重要性 ～アセスメントツールとしてのエコマップの活用～	WITH 医療福祉実践研究所 佐原まち子
	14:10～ 14:45	事例①を読み込み、エコマップの作成、発表	
	15:00～ 15:25	事例②を読み込み、エコマップ作成、アセスメントを書く	
	15:25～ 16:00	エコマップとアセスメント発表とコメント	
	16:00～ 16:20	エコマップ質疑・全体フィードバック 講師コメント	佐原まち子 田中千枝子

周産期から始まるソーシャルワーク研修

日 時	内 容	講 師	
2/24 (土)	10:00～ 10:15	オリエンテーション	石井記念愛染園附属愛染橋病院 上原 玲 聖隷浜松病院 内田 美加 東京都立墨東病院 柿沼 千秋 愛仁会高槻病院 田口眞規子 埼玉県立小児医療センター 平野 朋美 神戸学院大学 宮崎 清恵 葛飾赤十字産院 山根 珠妃 国立成育医療研究センター 総合診療部緩和ケア科 医長 余谷 暢之
	10:15～ 11:00	講義Ⅰ 周産期ソーシャルワーク概論	
	11:00～ 12:00	講義Ⅱ 実践力・実践モデル概論	
	13:00～ 14:30	講義Ⅲ 実践力・実践モデル概論	
	14:40～ 15:25	講義Ⅳ 実践モデル応用編 1	
	15:25～ 16:10	講義Ⅴ クライアント理解	
	16:10～ 16:55	講義Ⅵ ミクロからメソ実践の理解	
	17:05～ 17:25	演習Ⅰ-1 個人ワーク	
	17:25～ 18:15	演習Ⅰ-2 グループワーク	
	18:15～ 18:30	まとめ	
2/25 (日)	9:00～ 9:15	オリエンテーション	
	9:15～ 10:45	講義Ⅶ 小児医療の理解	
	10:55～ 11:40	講義Ⅷ 実践モデル応用編2	
	12:40～ 15:40	演習Ⅱ 個人ワーク 課題 1 グループワーク 課題 2～4	
	15:40～ 15:50	トピック	
	15:50～ 16:30	質疑応答 振り返り	

ソーシャルワークにおける就労支援

日 時	内 容	講 師	
1/27 (土)	10:00～ 10:05	開講挨拶	研修統括部
	10:05～ 10:45	がんと就労 一國のがん対策の変遷と取組についてー	厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 相談支援専門官 小野由布子
	10:45～ 12:15	医療ソーシャルワーカーが知っておくべきがん治療の基本 ー治療から生じる就労困難を理解するー	赤羽乳腺クリニック 医師 赤羽 和久
	13:15～ 14:45	労働法規の概要と制度について	小野本社労士事務所 小野本美奈子
	15:00～ 16:50	グループ演習 就労支援の実際	研修統括部
	16:50～ 17:00	アンケート記入	研修統括部

緩和ケアにおけるソーシャルワーク ～いのちに向き合う～

日 時	内 容	講 師
12/17 (日)	10:00～ 12:00	基調講演 「いのち」に向き合うー緩和ケアの原点 関西学院大学大学院 藤井 美和
	13:00～ 13:20	講義 ソーシャルワーク：その支援の本質 WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	13:20～ 14:00	講義 怒りをどのように理解し 向き合い支援するか 静岡県立静岡がんセンター 福地 智巴
	14:15～ 16:00	演習 事例をもとに 「怒り」に関する知識を、個別性の把握・理解にどう活用するか 「怒り」に適切に向き合うために、どんな面接技術やコミュニケーションスキルを活用するか。についてグループワークやロールプレイを通して学ぶ 田村 里子 福地 智巴
	16:00～ 16:30	分かち合い&まとめ 田村 里子 福地 智巴

ソーシャルワークにおける臨床倫理

日 時	内 容	講 師
7/29 (土)	10:00～ 11:00	講義1 臨床における倫理の基本 岩手保健医療大学 学長 清水 哲郎
	11:00～ 12:00	講義2 臨床倫理に基づく意思決定支援 東京大学 人文社会系研究科 次世代人文学開発センター 上廣死生学講座 特任教授 会田 薫子
	13:00～ 14:00	講義3 「臨床倫理シート」による要点の整理と考え方 会田 薫子
	14:00～ 16:20	臨床倫理シートを用いた検討 (話題提供・質疑、グループワーク) 「代替的栄養手段選択の代理意思決定支援」 事例提供者 長岡病院 長谷川知美 講師 会田 薫子 コーディネーター WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	16:20～ 16:30	まとめ 倫理綱領検討担当チーム

「家族療法」についてのワークショップ

日 時	内 容	講 師	
4/23 (土)	10:00～ 11:00	家族とは	中村心理療法研究室 代表 中村 伸一
	11:00～ 12:00	家族療法とは 家族療法の適応 システム論とコミュニケーションモデル 家族の構造 家族の歴史を紐解く	
	12:00～ 12:30	DVD 演習 ジェノグラムワークを用いた面接	
	13:30～ 14:45	演習 ジェノグラムを用いて家族の歴史を紐解く	
	15:00～ 16:15	DVD による解説 ジェノグラムを用いて家族の歴史を紐解く	
	16:15～ 16:30	質疑 ディスカッション	

認知症高齢者へのソーシャルワーク支援

日 時	内 容	講 師	
11/11 (土)	10:00～ 12:00	基本的な医学知識と最新情報 ～認知症の方を理解するために	筑波大学 教授 新井 哲明
	13:00～ 15:20	事例を通して学ぶ 退院援助と院外連携	東京都健康長寿医療センター 認知症支援推進センター 次席 畠山 啓
	15:30～ 16:30	権利擁護 成年後見と意思決定への支援	法律事務所たいとう 弁護士 佐藤 香代

ソーシャルワーカーとコミュニティデザイン

日 時	内 容	講 師	
2/4 (日)	10:00～ 11:00	講義 地域共生社会とそこでのソーシャルワーカーの役割	一般社団法人 Medical Studio 代表理事 坂本 文武
	11:00～ 12:00	グループワーク1 気になる地域課題をあげ、それが誰にとってどのような問題なのか、を議論してみる	
	13:00～ 14:00	グループワーク2 班で1つのテーマを取り上げ、近い未来に見たい状態をできるだけ具体的に描く	
	14:00～ 14:20	ミニレクチャー ここまでのワークの意味や注意点、次に考えるプロジェクトを立案する際の視点を整理する	
	14:35～ 16:00	グループワーク3	
	16:00～ 16:20	まとめ	

アディクションにおけるソーシャルワーク実践研修

日 時	内 容	講 師	
2/4 (日)	10:00～ 10:10	オリエンテーション	東海大学 稗田 里香 同志社大学 野村 裕美 北里大学病院 左右田 哲
	10:10～ 10:35	事前課題についてグループワーク	
	10:35～ 10:45	アルコール健康障害対策基本法について	
	10:45～ 12:00	講義1 理論的理解	
	13:00～ 13:10	体質判定結果	
	13:10～ 13:50	講義2 実践的理解、SBIRTSによるアウトリーチの実際	
	13:50～ 15:20	演習 レジスタンストーク・チェンジトークのロールプレイ	
	15:20～ 16:20	情報提供「社会資源の活用」	
	16:20～ 16:30	まとめ	

交通事故被害者生活支援アドバンス研修【北海道会場】

日 時	内 容	講 師	
10/8 (日)	10:00～ 10:15	開会あいさつ 趣旨説明	交通事故被害者生活支援研修チーム
	10:15～ 11:35	講義1 交通事故被害者の心理について	淑徳大学 大橋 靖史
	11:35～ 12:40	講義2 交通事故被害者への家族会の役割	脳外傷友の会コロポックル 数中 弘美
	13:45～ 14:05	演習1 アイスブレイク 交通事故被害者生活支援連携手帳の活用	交通事故被害者生活支援研修チーム
	14:15～ 16:15	演習2 各ステージにおける交通事故被害者への支援を考える	交通事故被害者生活支援研修チーム
	16:20～ 16:30	まとめ アンケート記入	交通事故被害者生活支援研修チーム

交通事故被害者生活支援アドバンス研修【愛知会場】

日 時	内 容	講 師	
11/12 (日)	10:00～ 10:15	開会あいさつ 趣旨説明	交通事故被害者生活支援研修チーム
	10:15～ 11:35	講義1 交通事故被害者の心理について	淑徳大学 渡辺 由希
	11:35～ 12:40	講義2 交通事故による被害者支援とその取り巻く環境	一般社団法人交通事故被害者 家族ネットワーク 業務執行理事 上田 育生
	13:45～ 14:05	演習1 交通事故被害者生活支援連携手帳の活用	交通事故被害者生活支援研修チーム
	14:05～ 16:15	演習2 アイスブレイク 各ステージにおける交通事故被害者への支援を考える	交通事故被害者生活支援研修チーム
	16:20～ 16:30	まとめ アンケート記入	交通事故被害者生活支援研修チーム

交通事故被害者生活支援アドバンス研修【熊本会場】

日 時	内 容	講 師	
12/10 (日)	10:00～ 10:15	開会あいさつ 趣旨説明	交通事故被害者生活支援研修チーム
	10:15～ 11:35	講義1 交通事故被害者の心理について	淑徳大学 渡辺 由希
	11:35～ 12:40	講義2 交通事故：当事者から支援者となった私の人生 ～支援者へメッセージ～	熊本県医療ソーシャルワーカー協会 会長 医療法人杏和会 城南病院 地域連携室 土肥 尚浩
	13:40～ 14:05	演習1 交通事故被害者生活支援連携手帳の活用	交通事故被害者生活支援研修チーム
	14:05～ 16:20	演習2 アイスブレイク 各ステージにおける交通事故被害者への支援を考える	交通事故被害者生活支援研修チーム
	16:20～ 16:30	まとめ アンケート記入	交通事故被害者生活支援研修チーム

交通事故被害者生活支援アドバンス研修【東京会場】

日 時	内 容	講 師	
1/21 (日)	10:00～ 10:15	開会あいさつ 趣旨説明	交通事故被害者生活支援研修チーム
	10:15～ 11:35	講義1 交通事故被害者の心理について	淑徳大学 大橋 靖史
	11:35～ 12:40	講義2 交通事故被害者への家族会の役割	NPO 法人 東京高次脳機能障害協議会 理事長 細見 みよ
	13:40～ 14:05	演習1 交通事故被害者生活支援連携手帳の活用	交通事故被害者生活支援研修チーム
	14:05～ 16:15	演習2 アイスブレイク 各ステージにおける交通事故被害者への支援を考える	交通事故被害者生活支援研修チーム
	16:15～ 16:30	まとめ アンケート記入	交通事故被害者生活支援研修チーム

交通事故被害者生活支援アドバンス研修【大阪会場】

日 時	内 容	講 師	
2/18 (日)	10:00～ 10:00	開会あいさつ 趣旨説明	交通事故被害者生活支援研修チーム
	10:00～ 10:45	講義1 ピアサポートとの出会いー社会との繋がるー	大阪脳損傷者サポートセンター 中塚 圭子
	10:55～ 12:25	講義2 交通事故被害者の心理について	淑徳大学 大橋 靖史
	13:25～ 13:50	演習1 交通事故被害者生活支援連携手帳の活用	交通事故被害者生活支援研修チーム
	13:50～ 16:15	演習2 アイスブレイク 各ステージにおける交通事故被害者への支援を考える	交通事故被害者生活支援研修チーム
	16:15～ 16:30	まとめ アンケート記入	交通事故被害者生活支援研修チーム

2017 年度人材開発・養成講座プログラム

日 時	内 容	講 師	
1/28 (日)	10:00～ 10:10	オリエンテーション	日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女
	10:10～ 10:30	研修の目標設定 ディスカッション	
	10:30～ 12:00	講義 人材養成とスーパービジョン 新人対象 新任対象	
	12:00～ 13:00	昼 食	
	13:00～ 14:00	事例1セッション演習	
	14:10～ 15:10	事例2セッション演習	
	15:20～ 16:30	まとめ フィードバック	

2017年度ソーシャルワーク 研究発表セミナープログラム

日 時	内 容	講 師	
10/28 (土)	9:30～ 12:00	ソーシャルワークにおける 質的研究の実際	東洋大学 社会学部 教授 志村 健一
	13:00～ 14:00	演習① グループワーク 私の実践と問題意識・研究計画の共有	
	14:10～ 15:00	演習② グループワーク 研究テーマの展開・方法 例示として	
	15:00～ 16:00	演習③ グループワーク 各グループの質的研究プロジェクト	
	16:10～ 16:40	全体共有および講師からのフィードバック	
	16:40～ 17:00	全体のまとめ	
10/29 (日)	9:30～ 12:00	ソーシャルワークにおける量的研究の実際	旭川大学 保健福祉学部 准教授 栗田 克実
	13:00～ 14:00	演習① グループワーク 再考 私の問題意識と研究計画の結びつき	
	14:10～ 15:00	演習② グループワーク 研究テーマの展開・方法 例示として	
	15:00～ 16:00	演習③ グループワーク 各グループの量的研究プロジェクト	
	16:10～ 16:40	全体共有および講師からのフィードバック	
	16:40～ 17:00	全体のまとめ	

2017年度社会福祉を学ぶ学生のための医療ソーシャルワーク学生講座プログラム

日 時	講 義 内 容	講 師	
3/3 (土)	13:00～ 13:20	開講式 スタッフ紹介とオリエンテーション	研修統括部
	13:20～ 13:40	アイスブレキング	研修統括部
	13:40～ 14:30	Session 1 医療ソーシャルワーカーの歴史	日本医療社会福祉協会 副会長 鈴木 幸一
	14:45～ 16:15	Session 2 医療ソーシャルワーカーの業務	東京医科大学病院 大竹口幸子
	16:30～ 18:00	Session 3 必要な医学知識 地域医療とターミナルケア	望星大根クリニック 医師 谷亀 光則
	18:00～ 19:00	Session 4 グループディスカッション1	東京医科歯科大学医学部附属病院 阿部 靖子 昭島病院 石野 啓子 北里大学病院 市川 賀一 東京医科大学病院 大竹口幸子 広島文化学園大学 大塚 文 国立がん研究センター東病院 坂本はと恵 国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史 横浜市立大学附属市民総合医療センター 杉本 彩 河北総合病院 関田 歩 東京福祉大学 中里 哲也
3/4 (日)	9:30～ 11:00	Session 5 多職種とのチーム医療等	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史
	11:15～ 12:45	Session 6 社会保障制度とソーシャルワーク	東京医科歯科大学医学部附属病院 阿部 靖子
	13:45～ 15:45	Session 7 グループディスカッション2	東京医科歯科大学医学部附属病院 阿部 靖子 昭島病院 石野 啓子 北里大学病院 市川 賀一 東京医科大学病院 大竹口幸子 広島文化学園大学 大塚 文 国立がん研究センター東病院 坂本はと恵 国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史 横浜市立大学附属市民総合医療センター 杉本 彩 河北総合病院 関田 歩 東京福祉大学 中里 哲也
	15:45～ 16:00	閉講式	研修統括部

保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修プログラム（2017年度）

通信科目

（第14期）

	科 目	出 題 者
第1学期	保健医療分野のソーシャルワークの歴史と動向	小原真知子（日本社会事業大学） 片岡 靖子（久留米大学）
	医療と社会・経済	廣井 良典（京都大学こころの未来研究センター） 佐原まち子（WITH 医療福祉実践研究所）
	医療機関の機能とソーシャルワーク	矢野 聡（日本大学） 田中千枝子（日本福祉大学大学院）
第2学期	医の倫理とソーシャルワーク	北島 英治（日本社会事業大学） 清水 哲郎（東京大学大学院）
	生活障害とソーシャルワーク	宮崎 清恵（神戸学院大学） 福山 和女（ルーテル学院大学大学院）
	連携・協働	小山 秀夫（兵庫県立大学大学院） 熊谷 忠和（川崎医療福祉大学）
第3学期	実践の評価・記録	横山由香里（日本福祉大学） 八木亜紀子（福島県立医科大学）
	組織と業務管理	久保 真人（同志社大学） 宮内佳代子（帝京大学医学部附属溝口病院）
	保健・医療・福祉関連法規・制度	富樫 八郎（沖縄大学） 池田恵利子（あい権利擁護支援ネット）

スクーリング日程

（第13期）

	内 容	講 師	ファシリテーター
第1日目	【講義と演習Ⅰ】 ソーシャルワーク、その根源と価値・倫理 ～人間の尊厳を支援する～	木原 活信 （同志社大学社会学部）	小松美智子 （武蔵野大学） 笹岡 眞弓 （文京学院大学） 佐原まち子 （WITH 医療福祉実践研究所） 左右田 哲 （北里大学病院） 高橋 恭子 （神奈川県立保健福祉大学） 田中千枝子 （日本福祉大学） 南本 宜子 （済生会京都府病院） 林 真紀 （やわたメディカルセンター） 林 真帆 （別府大学） 藤田 譲 （白鷺病院） 保科 健 （国立病院機構北海道医療センター） 宮崎 清恵 （神戸学院大学）
	【講義と演習Ⅳ】 メゾレベルのソーシャルワークを展開する ためのアセスメント	研修部	
第2日目	【講義B】 病院における IPW(多職種連携)と VPW(価値に基づく実践)	松岡 千代 （佛教大学保健医療技術学部）	
	【講義と演習Ⅲ】 オープンダイアログについて	植村 太郎 （神戸労災病院精神科・心療内科）	
	【講義と演習Ⅱ】 連携を深めるための交渉術・調整術	大島 武 （東京工芸大学芸術学部）	
第3日目	【講義C】 現代の貧困と生活保護・生活困窮者支援の課題	吉永 純 （花園大学社会福祉学部）	
	【講義A】 保健医療分野におけるソーシャルワーカーへのメッセージ	永野 ユミ （元水俣市立病院ソーシャルワーカー）	
	【講義D】 調査論文の読み方 入門編	武田 丈 （関西学院大学人間福祉学部）	

2017年度 人権擁護とソーシャルワーク研修

HIV 陽性者へのソーシャルワーク ～多職種連携により支援の質 プログラム

【福岡会場】

担当：社会貢献事業部

日 時	内 容	講 師	
12/17 (日)	10:00～ 10:05	開会あいさつ 趣旨説明	
	10:05～ 11:05	講義1 人権の擁護と HIV 陽性者支援	特定非営利活動法人 ぷれいす東京 代表 生島 嗣
	11:05～ 11:35	講義2 HIV/AIDS 医療の最新情報	国立病院機構 九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター部長 医師 山本 政弘
	11:45～ 12:15	講義3 HIV/AIDS 社会資源・地域連携	熊本大学医学部附属病院 地域連携室 MSW 上村 裕子
	13:10～ 14:00	講義4 当事者から支援者へのメッセージ	大阪 HIV 薬害訴訟原告団 小山 昇孝
	14:00～ 16:20	演習 グループワーク HIV 陽性者への支援の質を高めるために ～HIV 陽性者が豊かに暮らせる地域作り、私たちが できることとは？多職種との連携の視点から～	
	16:20～ 16:30	まとめ アンケート記入	

～血友病薬害被害者・HIV 陽性者理解を深め今後の支援に生かしていこう～ プログラム

【仙台会場】

日 時	内 容	講 師	
1/14 (日)	10:00～ 10:05	開会あいさつ 趣旨説明	
	10:05～ 10:55	講義1 人権擁護としての HIV 陽性者支援	東京医科大学病院 藤平 輝明
	10:55～ 11:15	講義2 当事者から支援者へのメッセージ	患者代表者
	11:15～ 12:15	講義3 血友病/HIV/AIDS 疫学と最新治療	仙台医療センター HIV/AIDS 包括医療センター 室長 伊藤 俊広
	13:15～ 13:45	講義4 HIV 陽性者との関わり・ケアについて ～看護師の立場から～	仙台医療センター 感染症内科 看護師 佐々木晃子
	13:45～ 14:15	講義5 HIV 陽性者の社会資源について	仙台医療センター 地域医療連携室 主任医療ソーシャルワーカー 小倉 美緒
	14:15～ 14:45	講義6 受入れ経験のある施設の対応と現状	(株)グリーンライフ 入居相談センターマネージャー 岡田 知一
	14:45～ 16:20	演習 グループワーク 医療・介護・福祉の他職種連携を考える ～チームによる支援の実際と支援困難事例の解決～	
	16:20～ 16:30	まとめ アンケート記入	

災害福祉支援活動基礎研修 2017 プログラム

【北海道会場】

担当：社会貢献事業部

日 時	講 義 内 容	講 師
9/30 (土)	10:30～ 11:30	講義1 総論 浦和大学 大島 隆代
	12:30～ 13:30	講義2 災害医療について 国立病院機構災害医療センター 小井土雄一
	13:40～ 14:20	講義3 災害ボランティアセンター 全国社会福祉協議会 園崎 秀治
	14:30～ 15:30	講義4 災害支援における多職種連携 宮崎大学/PCAT/ 日本プライマリ・ケア連合学会 原田奈穂子
	15:40～ 17:10	演習1 避難所・福祉避難所生活期における役割を考える 日本福祉大学 山本 克彦 日本介護福祉士会 舟田 伸司
	17:20～ 18:00	講義5 災害福祉を巡る施策動向、自治体との連携等 北海道 総務部危機対策局危機対策課 大西 章文
10/1 (日)	9:00～ 10:00	講義6 法制度 札幌弁護士会 伊藤 考一
	10:10～ 10:50	講義7 災害時におけるコーディネーション機能 日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	11:00～ 12:30	演習2 チームカンファレンス 日本社会福祉士会 山本 純江 日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	13:30～ 15:00	演習3 支援の引継ぎ 日本精神保健福祉士協会 森谷 就慶 日本医療社会福祉協会 笹岡 眞弓 日本医療社会福祉協会 坪田 まほ
	15:10～ 15:50	振り返り 日本精神保健福祉士協会 日本医療社会福祉協会
	15:50～ 16:00	閉会式 日本医療社会福祉協会

【石川会場】

日 時	講 義 内 容	講 師
11/3 (金)	10:30～ 11:30	講義1 総論 桃山学院大学 川井太加子
	12:30～ 13:30	講義2 災害医療について 国立病院機構災害医療センター 小早川義貴
	13:40～ 14:20	講義3 災害ボランティアセンター 全国社会福祉協議会 園崎 秀治
	14:30～ 15:30	講義4 災害支援における多職種連携 熊本大学医学部付属病院 香田 将英
	15:40～ 17:10	演習1 避難所・福祉避難所生活期における役割を考える 日本介護福祉士会 舟田 伸司
	17:20～ 18:00	講義5 災害福祉を巡る施策動向、自治体との連携等 石川県 危機管理監室危機対策課防災グループ 酒尾 貴志

11/4 (日)	9:00～ 10:00	講義6 法制度	仙台弁護士会 宇都 彰浩
	10:10～ 10:50	講義7 災害時におけるコーディネーション機能	日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	11:00～ 12:30	演習2 チームカンファレンス	日本社会福祉士会 山本 純江 日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	13:30～ 15:00	演習3 支援の引継ぎ	日本精神保健福祉士協会 森谷 就慶 日本医療社会福祉協会 笹岡 眞弓 日本医療社会福祉協会 坪田 まほ
	15:10～ 15:50	振り返り	日本精神保健福祉士協会 日本医療社会福祉協会
	15:50～ 16:00	閉会式	日本医療社会福祉協会

【静岡会場】

日 時	講 義 内 容	講 師	
12/16 (土)	10:30～ 11:30	講義1 総論	浦和大学 大島 隆代
	12:30～ 13:30	講義2 災害支援における多職種連携	宮崎大学/PCAT/ 日本プライマリ・ケア連合学会 原田奈穂子
	13:40～ 14:20	講義3 災害ボランティアセンター	全国社会福祉協議会 園崎 秀治
	14:30～ 15:10	講義4 災害時におけるコーディネーション機能	日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	15:20～ 16:00	講義5 災害福祉を巡る施策動向、自治体との連携等	静岡県 危機管理部危機報道監兼危機管理監代理 金嶋 千明
	16:10～ 17:10	講義6 災害医療について	国立病院機構災害医療センター 小井土雄一
12/17 (日)	9:00～ 10:00	講義7 法制度	兵庫弁護士会 津久井 進
	10:10～ 11:40	演習1 避難所・福祉避難所生活期における役割を考える	日本福祉大学 山本 克彦
	12:40～ 14:00	演習2 チームカンファレンス	日本社会福祉士会 角山 信司
	14:10～ 15:40	演習3 支援の引継ぎ	日本精神保健福祉士協会 森谷 就慶 日本医療社会福祉協会 笹岡 眞弓 日本医療社会福祉協会 坪田 まほ
	15:40～ 16:00	振り返り	日本精神保健福祉士協会 日本医療社会福祉協会
	16:00～ 16:10	閉会式	日本医療社会福祉協会

【東京会場】

日	時	講 義 内 容	講 師
9/30 (土)	10:30~ 11:30	講義1 総論	文京学院大学 笹岡 真弓
	12:30~ 13:30	講義2 災害医療について	国立病院機構災害医療センター 小井土雄一
	13:40~ 14:30	講義3 災害ボランティアセンター	全国社会福祉協議会 園崎 秀治
	14:40~ 15:40	講義4 災害支援における多職種連携	宮崎大学/PCAT/ 日本プライマリ・ケア連合学会 原田奈穂子
	15:50~ 17:20	演習3 支援の引継ぎ	日本精神保健福祉士協会 森谷 就慶 日本医療社会福祉協会 坪田 まほ
	17:30~ 18:10	講義5 災害福祉を巡る施策動向、自治体との連携等	北海道 総務部危機対策局危機対策課 大西 章文
10/1 (日)	9:00~ 10:00	講義6 法制度	札幌弁護士会 伊藤 考一
	10:10~ 10:50	講義7 災害時におけるコーディネーション機能	日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	11:00~ 12:30	演習1 避難所・福祉避難所生活期における役割を考える	日本介護福祉士会 舟田 伸司
	13:30~ 15:00	演習2 チームカンファレンス	日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	15:10~ 15:50	振り返り	日本精神保健福祉士協会 日本医療社会福祉協会
	15:50~ 16:00	閉会式	日本医療社会福祉協会

2017 年度人生最終段階における意思決定支援研修会プログラム

【広島会場】

担当：調査研究部

日 時	内 容	講 師	
9/30 (土)	10:00～ 10:30	講義 1 研修の意義とアイスブレイク（事前課題使用）	西岡病院 岡村 紀宏
	10:30～ 12:00	講義 2 人生の最終段階における「つなぐ」連携	みその生活支援クリニック 院長 小野沢 滋
	13:00～ 14:30	講義 3 アドバンス・ケア・プランニング～意思決定の支援	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 会田 薫子
	14:45～ 16:15	講義 4 人生の最終段階における臨床倫理と相談のあり方	岩手保健医療大学 学長 清水 哲郎
	16:30～ 18:00	講義 5 チーム医療におけるソーシャルワーカーの役割	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
10/1 (日)	9:00～ 10:30	講義 6 意思決定に関する法的知識	きのした法律事務所 弁護士 木下正一郎
	10:45～ 12:15	講義 7 厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」 の成果を踏まえた仕組みづくり	国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域連携診療部 医師 西川 満則
	13:00～ 16:10	講義 8-1 & 2 人生の最終段階におけるソーシャルワーク支援	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
	16:10～ 16:30	アンケート記載	調査研究部

【神奈川会場】

日 時	内 容	講 師	
3/3 (土)	10:00～ 10:30	講義 1 研修の意義とアイスブレイク（事前課題使用）	JCHO 東京新宿メディカルセンター 山崎まどか
	10:30～ 12:00	講義 2 厚生労働省「人生の最終段階における医療体制整備事業」 の成果を踏まえた仕組みづくり	国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域連携診療部 医師 西川 満則
	13:00～ 14:30	講義 3 アドバンス・ケア・プランニング～意思決定の支援	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 会田 薫子
	14:45～ 16:15	講義 4 人生の最終段階における臨床倫理と相談のあり方	岩手保健医療大学 学長 清水 哲郎
	16:30～ 18:00	講義 5 チーム医療におけるソーシャルワーカーの役割	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
3/4 (日)	9:00～ 10:30	講義 6 意思決定に関する法的知識	きのした法律事務所 弁護士 木下正一郎
	10:45～ 12:15	講義 7 人生の最終段階における「つなぐ」連携	みその生活支援クリニック 院長 小野沢 滋
	13:00～ 16:10	講義 8-1 & 2 人生の最終段階におけるソーシャルワーク支援	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
	16:10～ 16:30	アンケート記載	調査研究部

2017年度 老健ソーシャルワーク研修会 プログラム

担当：調査研究部

日 時	内 容	講 師	
10/14 (土)	10:00～ 10:05	開会	調査研究部
	10:05～ 11:10	講義1 在宅ケアの拠点として介護老人保健施設の支援相談員に求めること	全国老人保健施設協会 理事 小川 勝
	11:10～ 12:15	講義2 組織の中で介護老人保健施設の支援相談員に求めること	高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本 雅彦
	13:15～ 14:00	実践報告1	介護老人保健施設 さつきの里あつぎ 蜂須賀和人
		実践報告2	介護老人保健施設 めがみ 熊坂 隆志
	14:00～ 16:30	ワールドカフェ 介護老人保健施設におけるソーシャルワーク	日本医療社会福祉協会 業務執行理事 岡村 紀宏
16:30～ 16:40	閉会	調査研究部	

2017年度 医療ソーシャルワーカーの地域活動セミナー プログラム

担当：調査研究部

日 時	内 容	講 師	
11/18 (土)	14:00～ 14:05	開会	調査研究部
	14:05～ 15:05	在宅医療介護連携推進事業の取り組み	厚生労働省 老健局 老人保健課 塩崎 敬之
	15:20～ 16:00	実践報告 医療ソーシャルワーカーの地域活動	新潟市在宅医療・介護連携ステーション南 坂詰 明広 那覇市立病院 樋口美智子 名古屋市医師会 黒木 信之
	16:20～ 17:00	Session4 ワールドカフェ	シンポジスト 厚生労働省 老健局 老人保健課 塩崎 敬之 新潟市在宅医療・介護連携ステーション南 坂詰 明広 那覇市立病院 樋口美智子 名古屋市医師会 黒木 信之 座長 日本医療社会福祉協会 業務執行理事 岡村 紀宏
	17:00～ 17:10	閉会	調査研究部

2017 年度 在宅医療ソーシャルワーク研修会 プログラム

担当：調査研究部

日 時	内 容	講 師	
7/29 (土)	10:00～ 10:10	開会	調査研究部
	13:00～ 14:00	Session 1 在宅医療の概念と課題	東京ふれあい医療生協 梶原診療所 ／日本在宅医学会副代表理事 平原佐斗司
	14:00～ 14:20	Session 2 在宅医療の実際 －在宅医の立場から－	医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所 ／日本在宅医学会副代表理事 川越 正平
	14:00～ 14:20	Session 3 在宅医療ソーシャルワークにおける 価値・倫理	社会医療法人社団三思会 東名厚木病院 ／医療福祉相談室 課長 福田 美香
	14:00～ 14:20	Session 4 在宅医療ソーシャルワークにおける 面接技術	東京福祉大学社会福祉学部 助教 中里 哲也
	14:00～ 14:20	Session 5 グループワーク	調査研究部
	16:30～ 16:40	閉会	調査研究部

2017 年度フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会プログラム

開催日：愛知会場 5月28日 大阪会場 6月25日 東京会場 7月15日 担当：組織運営部

時 間	内 容	講 師
10:00～ 10:40	開会あいさつ 来賓あいさつ	協会理事 都道府県協会代表者
10:40～ 12:10	知っておきたい社会資源	会員医療ソーシャルワーカー
13:10～ 14:40	フロアー交流	参加者相互
15:00～ 16:30	多職種連携入門	会員医療ソーシャルワーカー
16:30～ 17:00	振り返り・アンケート記入 閉会あいさつ・閉会	組織運営部